

取扱説明書

ラプレ シャンプースチーマー AT



もくじ

はじめに	1 頁
1.安全上のご注意	1 頁
2.梱包品の確認	2 頁
3.ご使用になる前に	2 頁
4.各部の名称と機能	3 頁
5.スチームを使用前の準備	4 頁
6.スチーム使用手順	7 頁
7.機械の停機	8 頁
8.保守と点検	11 頁
9.トラブルシューティング	14 頁
10.製品仕様	15 頁
11.オプション	15 頁

はじめに

この度は、ラプレシャンプースチーマーATをご採用いただき、誠にありがとうございます。安全に使用していただくために、この取扱説明書をよく読んで内容を十分に理解したうえで使用してください。

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- 本製品を末永くご使用いただくために、正しい取扱いと定期的な保守管理が必要です。この取扱説明書に記載されている注意事項を守り、保守作業を必ず行ってください。
- 本製品を、無断で改造したり、誤使用による損害が発生した場合は、責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、想定される内容を「警告」「注意」「注記」の三つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

◆誤った取扱いにより生じる危険や損害の程度を次の三つに区分しています。

 警告	人が死亡、重症を負う可能性または、火災が想定される内容を示しています。
 注意	人が障害を負う可能性または、物的損害が想定される内容を示しています。
注記	警告、注意の項目以外で、特に守って頂きたい内容を示しています。

※警告、注意、注記表示に於いて、守らなかった場合に起こる可能性を“太文字”で表記しています。

◆ 本製品への警告、注意、注記シール貼り付け位置

取扱説明書での説明に加えて、本製品には下図の位置に「警告シール」と「注記シール」を貼っています。各シールが損傷したり、剥れた場合は、弊社販売店にお問い合わせください。

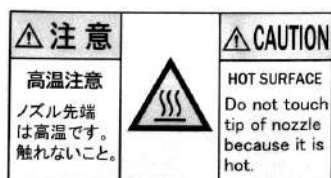
①排水レバー警告シール



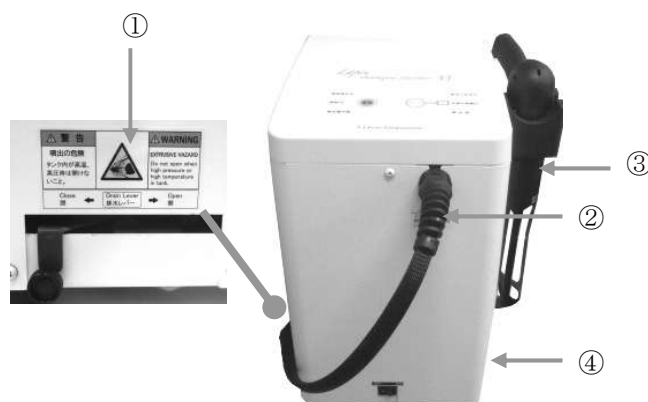
②スチームチューブ注記シール



③ノズル高温注意シール



④転倒スイッチ注記シール



2. 梱包品の確認

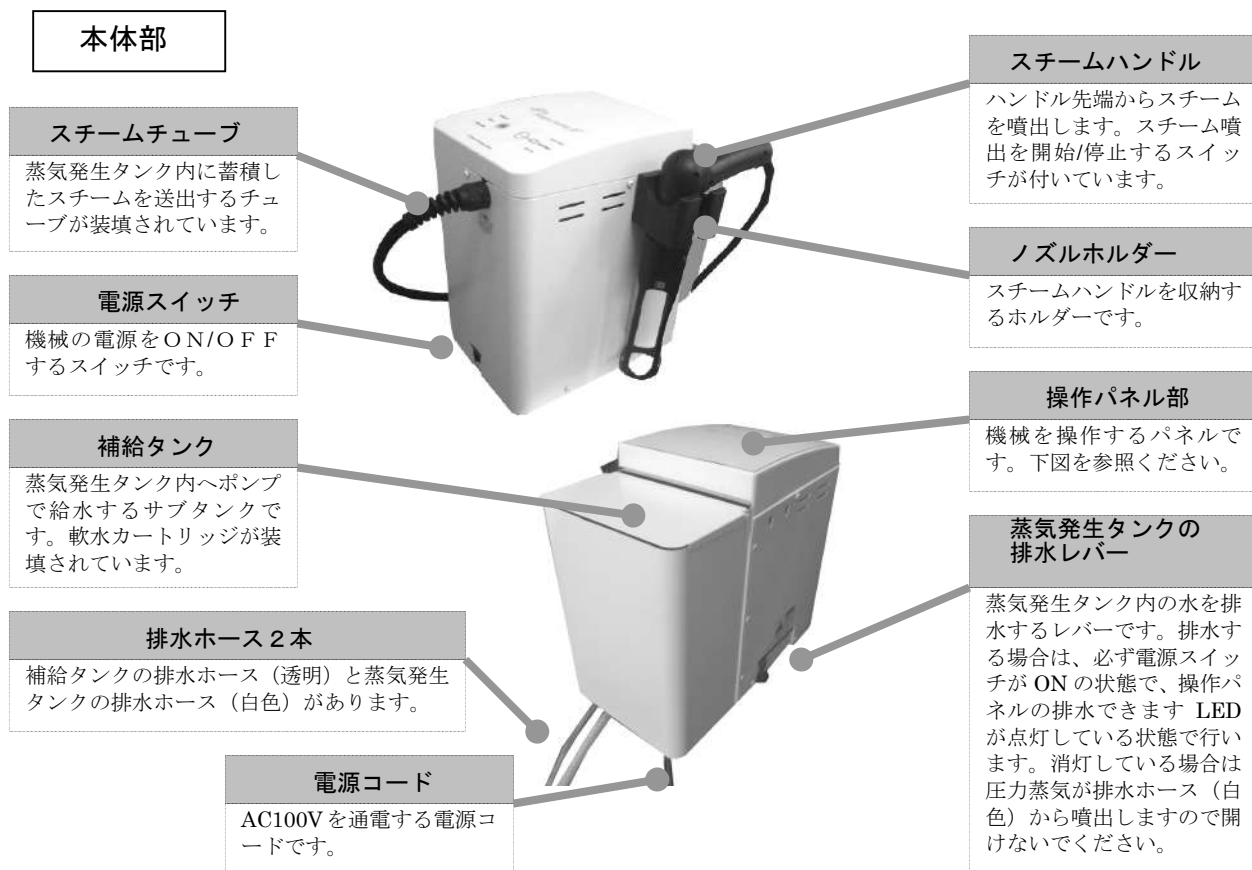
梱包品は下表のとおりです。開梱時にご確認ください。

品名	取扱説明書	軟水カートリッジ	給水タンク	ノズルホルダー	
数量	1部	1個	1個	1個	
形状					

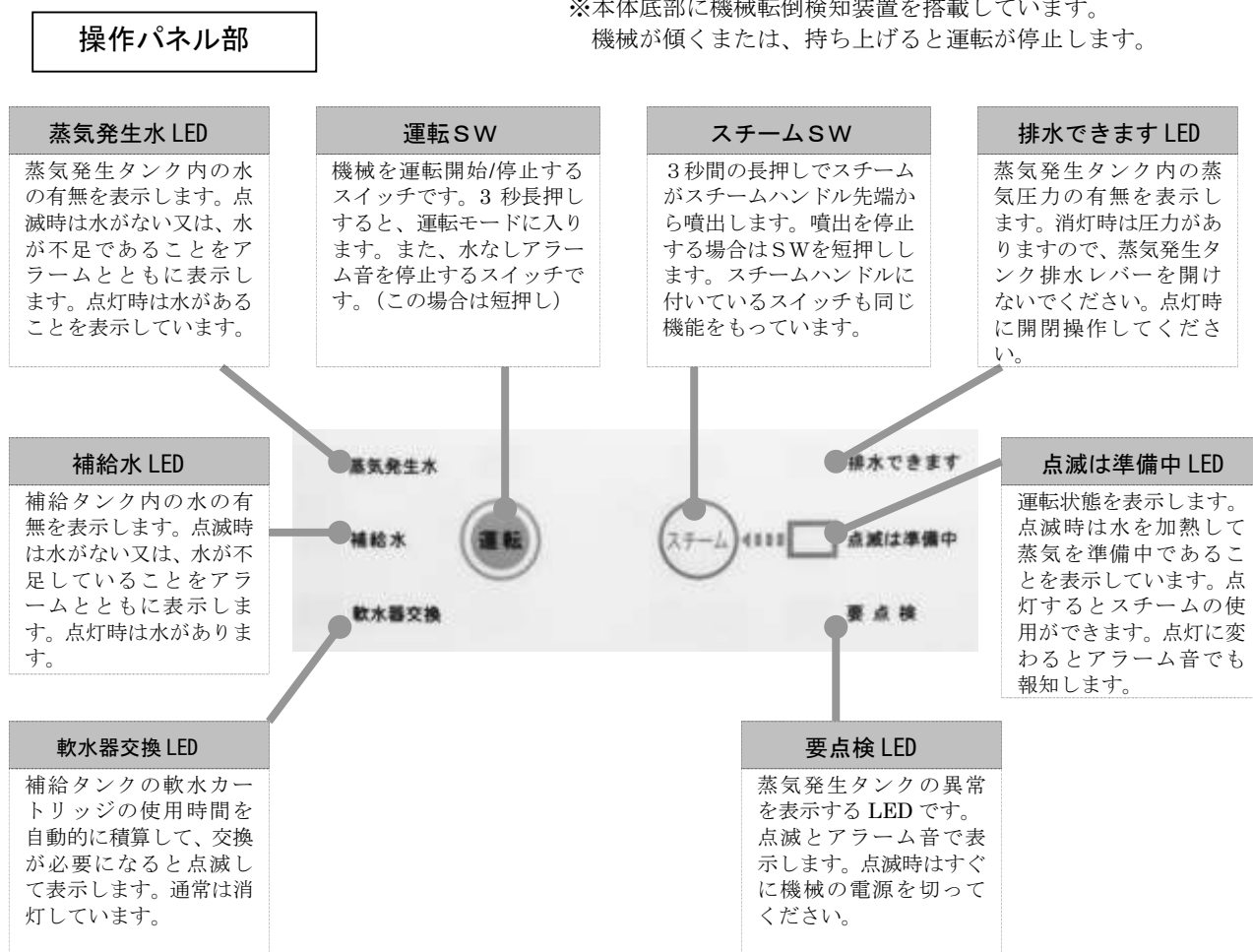
3. ご使用になる前に

本製品は出荷前に十分な検査を受けており、ただちに作動する状態にあります。輸送中の損傷等を受けていないか開梱時に点検をお願い致します。万一異常な点がございましたら、ただちに買い求めいただいた販売店にご連絡いただきますよう、お願い致します。

4. 各部の名称と機能



※本体底部に機械転倒検知装置を搭載しています。
機械が傾くまたは、持ち上げると運転が停止します。

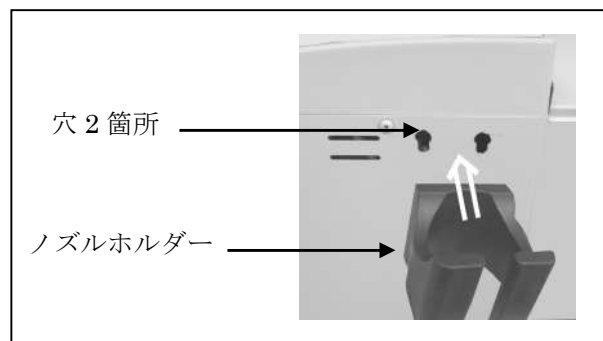


5. スチームを使用前の準備

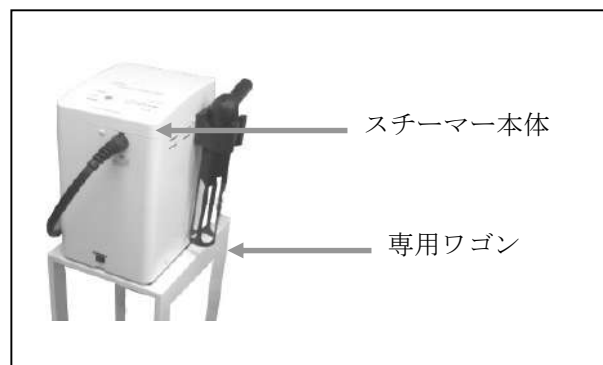
機械の設置と準備(初めて使用される場合)

- ① スチーマー本体の側面にある 2 箇所の穴に
付属のノズルホルダーの突起部を差し込んで
ノズルホルダーを取り付けます。

※ 突起部を穴に差し込んで、下方向に押し
下げてノズルホルダーを固定します。
スチームハンドルをノズルホルダーにセット
します。



- ② スチーマー本体をオプションの専用ワゴン
または、お持ちのワゴンに載せます。



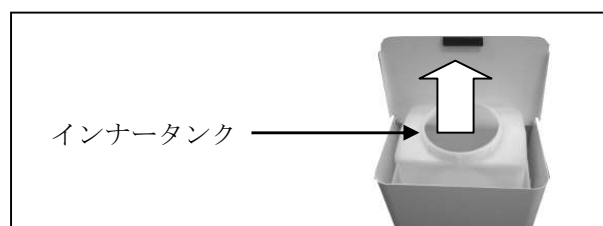
注記

スチーマー本体の底部に機械転倒検知装置を搭載しています。ワゴン上に
水平に設置してください。**機械転倒検知装置が作動した状態は、機械の電
源が入りません。**

注記

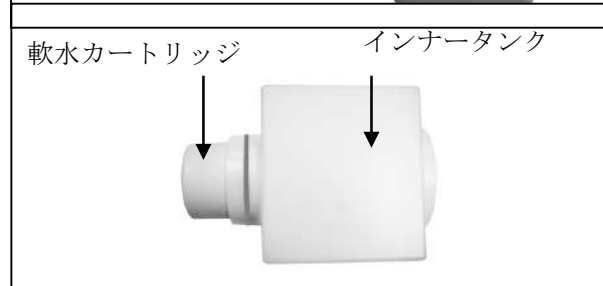
スチーマーは、機械本体が約 12Kg です。水が満杯の状態では約 18Kg の重
量となります。18Kg 以上の重量に耐えるワゴンにスチーマーを載せてくだ
さい。

- ③ 補給タンクの蓋を開けて、中にあるインナー
タンクを取り出します。



- ④ インナータンク内に軟水カートリッジを入れ
て、軟水カートリッジを出口穴へ押し込みま
す。

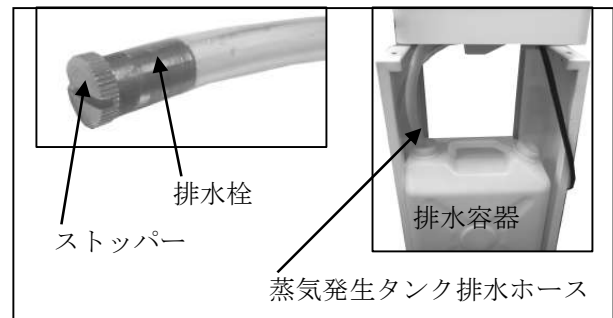
※ 軟水カートリッジが、平行に挿入されて
いることを確認してください。



- ⑤ 軟水カートリッジを取り付けたインナータンクを補給タンク内へ戻します。

- ⑥ 補給タンクの排水ホース（透明ホース）先端に付いている排水栓のストッパーが、ねじ込まれていることを確認します。

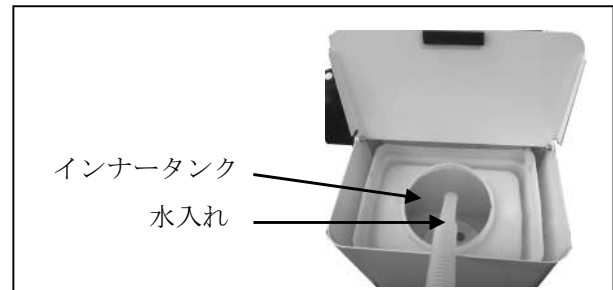
蒸気発生タンクの排水ホース（白色ホース）を排水容器に挿入します。



- ⑦ 補給タンク内のインナータンクへ水を入れます。水はインナータンクの軟水カートリッジを通過して補給タンク内へ溜まる構造です。

※ 水は約4リットルが満水の目安です。

※ 水は軟水カートリッジをゆっくり通過して補給タンクへ入りますので、一時的にはインナータンク内に滞留します。



注記

水は水道水を使用してください。純水や蒸留水などは水位センサーが誤動作する可能性がありますので使用しないでください。

- ⑧ 蒸気発生タンクの排水レバーが閉まっていることを確認します。（閉側）

電源コードの電源プラグをコンセントへ差し込んで、電源スイッチをONします。

（I側を押す）



△注意

本機は定格電圧 AC100V 定格消費電力 1200W 仕様です。本機はコンセントへ単独接続してください。また、アース接続してください。間違った接続は、火災や感電の可能性があります。

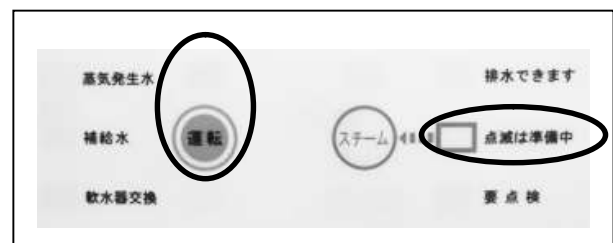
- ⑨ 操作パネルの運転SWを押し（3秒長押し）、運転を開始します。

※ 自動的にポンプが、補給タンクから蒸気発生タンクへ水を送って、水の加熱を開始します。

※ 水を加熱して蒸気を蓄積中は、操作パネルの点滅は準備中LEDが点滅しています。

- ⑩ 操作パネルの点滅は準備中LEDが点滅から点灯になると、スチームが使用可能な状態です。

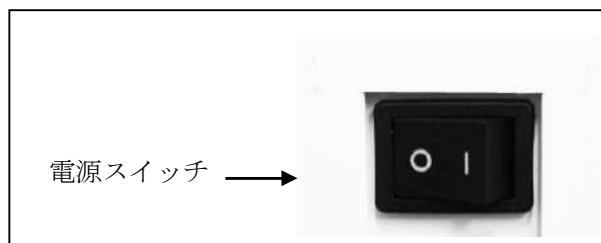
※ 点滅は準備中LEDが点灯になると、1秒間のアラームも鳴ります。



繰り返し使用の場合の準備（通常の使用準備）

繰り返しご使用になる場合のスチーマーの準備は以下の手順で行います。通常は毎朝の使用始めに行っていただく内容です。

- ① 機械の電源コードの電源プラグをコンセントへ差し込みます。
機械の電源スイッチを ON します。
(I 側を押す)



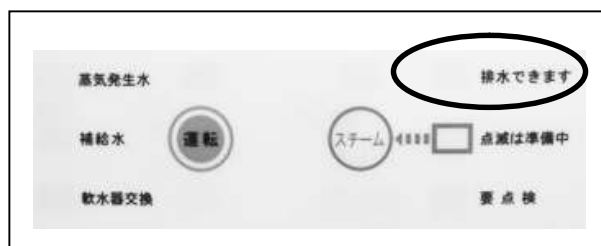
⚠ 注意

本機は定格電圧 AC100V 定格消費電力 1200W 仕様です。
本機はコンセントへ単独接続してください。また、アース接続してください。**間違った接続は、火災や感電の可能性があります。**

- ② 操作パネルの排水できます LED が点灯していることを確認します。

※ 排水できます LED が消灯状態である時は、蒸気発生タンク内に圧力蒸気がありますので、下記③の操作を行わないでください。

(消灯時の操作は **7. 機械の停機** ケース2 の①を参照)

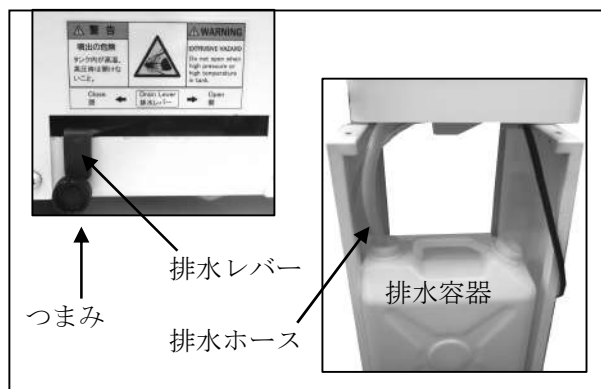


- ③ 蒸気発生タンク排水ホース（白色ホース）を排水容器へ挿入します。

排水レバー部のつまみを左方向に回して緩めます。(つまみは排水レバーのロックですので、レバーが動く範囲内まで緩めます)
排水レバーを開けます。(開側)

※ 最多量で 1.5 リットルの水が排水されますので、2 リットル以上の容器が必要です。

※ 機械の電源スイッチが OFF の状態ではエアーが入らないため、排水できません。



⚠ 警告

排水できます LED が消灯した状態（蒸気発生タンク内に圧力蒸気がある状態）で排水レバーを開けると、排水ホースから蒸気が噴出して火傷の可能性がありますので、開けないでください。

- ④ 排水完了後、排水レバーを閉じます。(閉側) つまみを右方向に回して排水レバーをロックします。

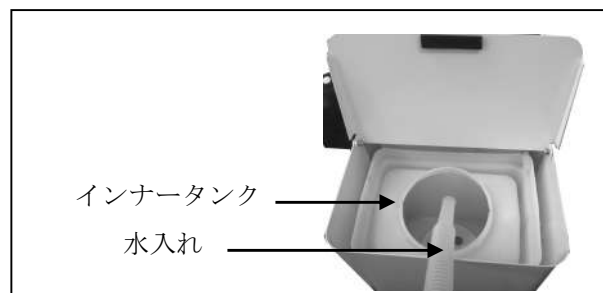
排水容器に排出された水を流し台などへ捨てます。

蒸気発生タンク排水ホース（白色ホース）を排水容器に差し込みます。

⑤ 補給タンク内に水があるか確認します。

不足の場合は、水をインナータンクへ補給します。水はインナータンクの軟水カートリッジを通過して補給タンク内へ溜まる構造です。水入れ完了後、タンク蓋を取り付けます。

※ 水は軟水カートリッジをゆっくり通過して補給タンクへ入りますので、一時的にはインナータンク内に滞留します。



注記

水は水道水を使用してください。純水や蒸留水などは水位センサーが誤動作する可能性がありますので使用しないでください。

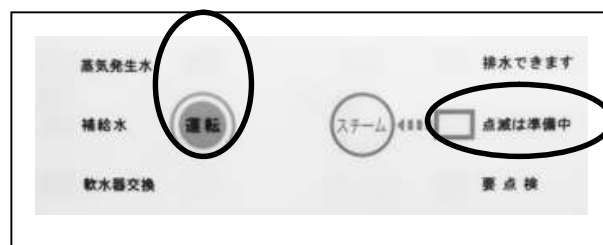
⑥ 操作パネルの運転SWを押し（3秒長押し）、運転を開始します。

※ 自動的にポンプが、補給タンクから蒸気発生タンクへ水を送って、水の加熱を開始します。

※ 水を加熱して蒸気を蓄積中は、操作パネルの点滅は準備中 LED が点滅しています。

操作パネルの点滅は準備中 LED が点滅から点灯になると、スチームが使用可能な状態です。

※ 点滅は準備中 LED が点灯になると、1秒間のアラームも鳴ります。



6. スチーム使用手順

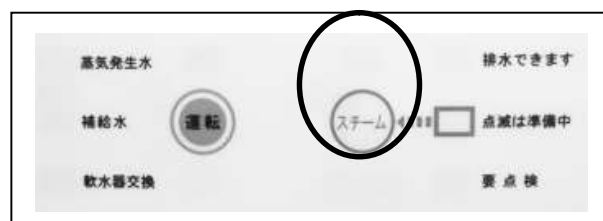
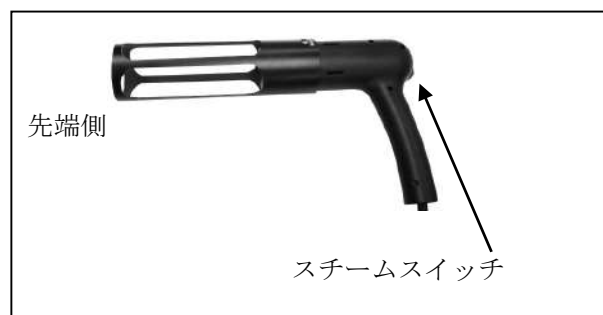
① スチームハンドルの先端をタオルなどへ向けて、スチームハンドルのスチームスイッチを長押し（3秒間）すると、スチームがスチームハンドル先端からでます。

スチームを停止する場合は、スチームスイッチを短押しします。

操作パネルのスチームSWを同じように押すことでも、同じ操作ができます。

※ スチームの出始めは、多くの水滴を含んでいますので、スチームハンドルの先端をタオルなどへ向けて噴射してください。

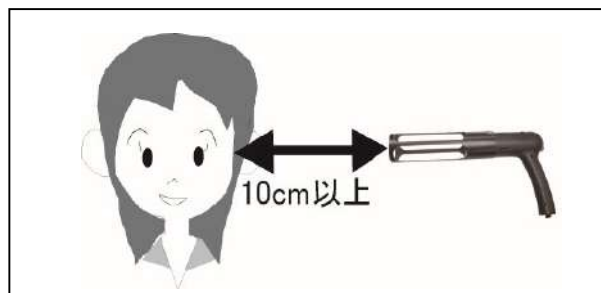
※ 運転開始直後のスチームは空気が混在しているため、スチームの勢いが弱い場合がありますが、異常ではありません。



② 頭髮へスチームを当てます。

※ 頭髮とスチームハンドル先端までの距離を10cm 以上保ってご使用ください。

※ ヘアーキャップなどで被った中へスチームを噴射すると、ヘアーキャップの中が非常に熱くなりますので、このような使用は行わないでください。



△ 注意

スチームハンドルと頭髮までの距離が近すぎると、熱く感じます。必ず、距離を保って使用してください。火傷の可能性があります。

③ スチームを停止する場合は、スチームハンドルのスチームスイッチを押すと停止します。

※ スチームを停止する場合は、短押しで停止します。また、操作パネルのスチームSWを短押ししても停止します。

④ シャンプー途中で、操作パネルの補給水 LED が点滅してアラーム報知した場合は、補給タンクの水がなくなったことを知らせています。補給タンクへ水を補給してください。

※ アラーム音は運転SWを押す（短押し）と止まります。

補給水 LED は、水を補給すると点滅から点灯へ移行します。

※ 補給タンクの水がなくなっても、約 10 分間はスチームの噴出は可能です。

しかし、約 10 分以上スチームを噴出すると、蒸気発生水 LED が点滅して、自動的に水加熱ヒーターが OFF になりますので、早めの水の補給をお願いします。



7. 機械の停機

本スチーマーの使用終了時に、スチーマーを停機する三通りの手順を以下に記載します。

ケース1 蒸気発生タンクと補給タンクの水は排水しないで停機する場合

蒸気発生タンクと補給タンク内の水はそのままの状態ですべて停機して、翌日に蒸気発生タンク内の水のみを排水する手順。

※ 蒸気発生タンク内の水を抜かないで、そのまま継ぎ足し使用すると、蒸気発生タンク内に水垢成分が堆積して故障の原因となりますので、必ず翌日に排水してください。

ケース2 蒸気発生タンク内の水を使用直後に排水する場合

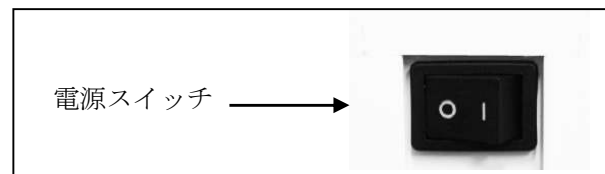
蒸気発生タンク内の水を使用直後に排水し、補給タンク内の水は排水しない手順。

ケース3 蒸気発生タンクと補給タンク内の水を使用直後に排水する場合

蒸気発生タンク内の水と補給タンク内の両方の水を使用直後に排水する手順。

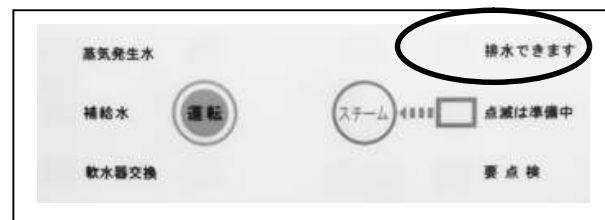
ケース1 蒸気発生タンクと補給タンクの水は排水しないで停機する場合

- ① 電源スイッチを OFF します。(O 側を押す)
- ② 電源コードの電源プラグをコンセントから抜きます。
- ③ 当日は、このままで終了です。



翌日に、以下の手順で蒸気発生タンクの水を排出します。

- ④ 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを ON します。(I 側を押す)
- ⑤ 操作パネルの排水できます LED が点灯していることを確認します。



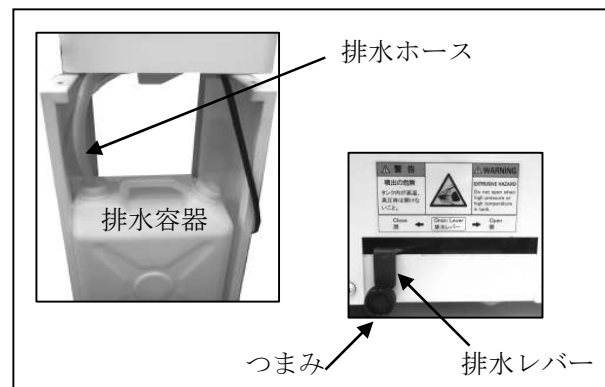
(消灯時の操作は 7. 機械の停機 ケース2 の①を参照)

- ⑥ 蒸気発生タンク排水ホース（白色ホース）を排水容器へ挿入します。

※ 最多量で 1.5 リットルの水が排水されますので、2 リットル以上の容器が必要です。

※ 機械の電源スイッチが OFF の状態ではエアが入らないため、排水できません。

排水レバー部のつまみを左方向に回して緩めます。(つまみは排水レバーのロックですので、レバーが動く範囲内まで緩めます)



排水レバーを開けて（開方向）、蒸気発生タンクの水を排水します。

排水完了後、排水レバーを閉じます。つまみを右方向に回して排水レバーをロックします。

排水した容器内の水を流し台などへ捨てます。蒸気発生タンク排水ホース（白色ホース）を排水容器に差し込みます。

<p>警告</p>	<p>操作パネルの排水できます LED が消灯している場合は、蒸気発生タンク内に圧力蒸気が残っています。排水レバーを開けないでください。排水ホースから高温の蒸気が噴出して、火傷の可能性があります。</p>
------------------	--

- ⑦ スチームを使用される場合は、5. スチームを使用前の準備

繰り返し使用の場合の準備

の手順⑤から行います。

スチームを使用されない場合は、電源スイッチを OFF して（O 側を押す）、電源プラグをコンセントから抜きます。

ケース2 蒸気発生タンク内の水を使用直後に排水する場合

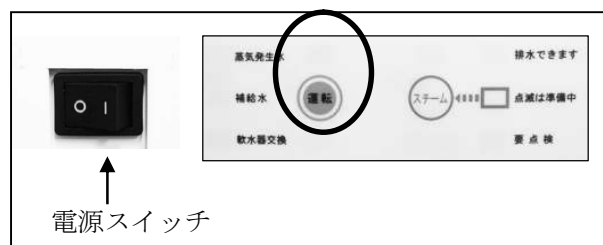
電源プラグがコンセントに差し込まれ、電源スイッチが ON の状態からの手順を説明します。

<p>警告</p>	<p>スチーム使用直後は、蒸気発生タンク内に圧力蒸気が残っています。手順に従って排水レバーを開けてください。排水ホースから高温の蒸気が噴出して、火傷の可能性があります。</p>
------------------	--

- ① 操作パネルの排水できます LED が点灯していることを確認します。消灯している場合は、下記手順②から③に従って蒸気発生タンク内の圧力蒸気を放出します。



- ② 電源スイッチを OFF します。(O 側を押す) 運転 SW を押しながら電源スイッチを ON します。(I 側を押す)



※ この操作で、メンテナンスモードに入ります。

メンテナンスモード中は、操作パネルの運転 SW の LED が点滅しています。

- ③ スチームハンドルの先端をタオルなどへ向け、スチームスイッチを押して (3 秒長押し) 蒸気発生タンク内の蒸気を放出します。操作パネルの排水できます LED が点灯すると圧力蒸気の放出は完了です。



※ 排水できます LED が点灯するまで約 10 分程度です。

⚠ 注意

スチームの放出はスチームハンドルを身体へ向けないでください。タオルなどへ向けて放出してください。**火傷の可能性があります。**

- ④ 電源スイッチを OFF して (O 側を押す)、再び ON します (I 側を押す)。

※ この操作で、メンテナンスモードから通常モードへ戻ります。

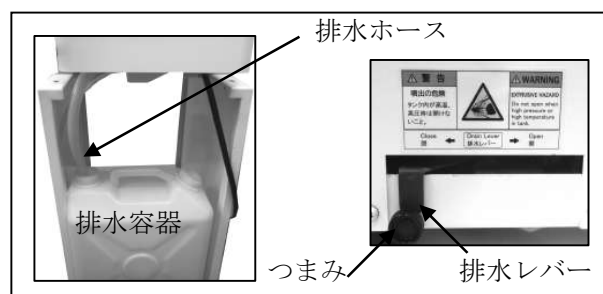
※ この操作で、スチームスイッチはスチーム停止の状態へ自動的に復帰します。

- ⑤ 蒸気発生タンク排水ホース (白色ホース) を排水容器へ挿入します。

排水レバー部のつまみを緩めて、排水レバーを開け、排水容器へ水を排出します。

排水完了後は、排水レバーを閉じ、つまみを右方向に回して排水レバーをロックします。排出された水は、流し台などへ捨てます。

蒸気発生タンク排水ホース (白色ホース) を排水容器に挿入します。



※ 排水レバーが開いた状態で、運転 SW を押すと警告音が鳴って ON しません。

※ 電源スイッチが OFF の状態では、エアーが入りませんので排水が完了しません。

⚠ 注意

使用直後の蒸気発生タンク内の水は高温となっています。高温に耐える容器へ排水してください。また、排出された水を素手で触らないでください。**火傷の可能性があります。**

⑥電源スイッチを OFF して（0 側を押す）、電源プラグをコンセントから抜きます。

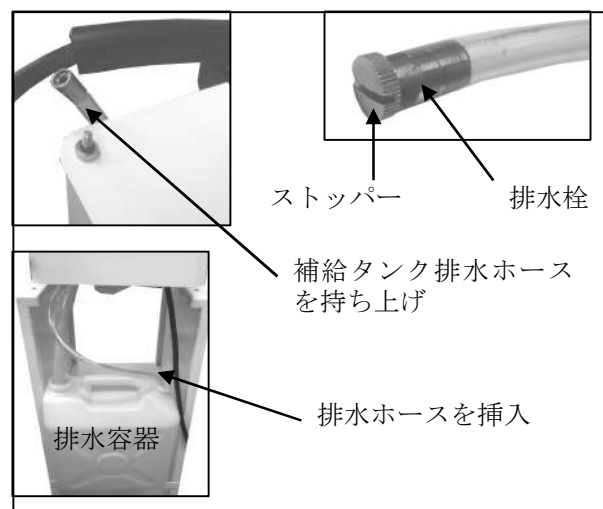
ケース3 蒸気発生タンクと補給タンク内の水を使用直後に排水する場合

① **ケース2** の①から⑥の手順を行って、蒸気発生タンクの水を排水します。

② 補給タンク排水ホース（透明ホース）の先端を上方へ持ち上げて、排水栓のストッパーを回して外します。排水ホースの先端を指で塞ぎながら、排水容器へホースを挿入して水を排水します。

※ 排水ホース先端を下方にして排水栓のストッパーを外すと水が零れる可能性がありますので、先端を上方にして外します。

※ 補給タンク内は最多量で約 4 リットルの水が入っています。



③ 補給タンクの水を排水完了後、排水ホースの排水栓のストッパーをねじ込んで取り付けます。

注記

1 週間以上の長期の停機では、本体タンクと補給タンクの両方の水を排水してください。水が腐敗する可能性があります。また、その場合、補給タンクのインナータンクに取り付けている軟水カートリッジを取外して、軟水カートリッジをビニール袋などで密閉しておくことをお勧めします。軟水カートリッジは乾燥すると性能が低下する場合があります。

8. 保守と点検

(1) 毎日実施する保守

- 機械外装部に付着した汚れや毛髪などを清掃します。
- 補給タンク内に浮遊しているゴミを取り除きます。
- スチームハンドルに付着した汚れなどを拭取ります。

(2) 半年から1年で実施する保守(軟水カートリッジの交換)

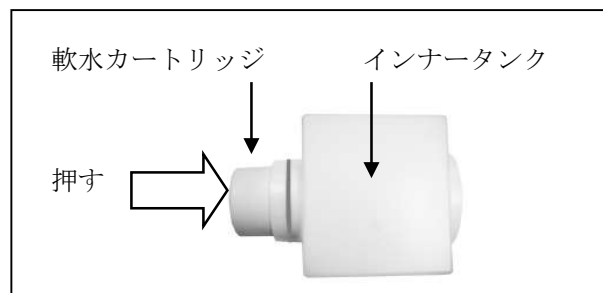
本機の補給タンクには、水を軟水化する軟水カートリッジが装着されています。軟水カートリッジの軟水化剤は、一定の水を軟水にすると効力を失います。機械内のメモリーで使用時間がカウントされ、指定の使用量になると、操作パネルの軟水器交換 LED が点滅して軟水カートリッジが交換時期であることをお知らせします。以下の手順で軟水カートリッジを交換します。尚、軟水カートリッジのご購入は、機械をお買いもとの販売店へお問い合わせください。

① 電源スイッチを OFF にし（0 側を押す）、電源コードの電源プラグを抜きます。
補給タンク内にあるインナータンクを取り出します。
※水が滴り落ちますので、インナータンクをバケツなどで受けてください。



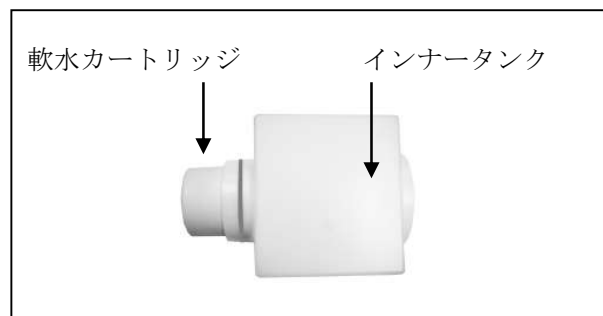
- ② 軟水カートリッジの底部を押して、軟水カートリッジをインナータンク内へ押し出します。インナータンク内から軟水カートリッジを取り出します。

※ 不要な軟水カートリッジはプラスチックとして廃棄してください。



- ③ インナータンク内に新しい軟水カートリッジを入れて、軟水カートリッジを出口穴へ押し込みます。

※ 軟水カートリッジが平行に挿入されていることを確認してください。



- ④ インナータンクを補給タンク内へ戻します。

- ⑤ 電源コードの電源プラグをコンセントへ差し込みます。

- ⑥ 操作パネルの運転SWを押しながら電源スイッチをONします。(I側を押す)

※ この操作でメンテナンスモードに入ります。メンテナンスモード中は運転SWのLEDが点滅しています。



- ⑦ 操作パネルの運転SWを7秒間長押しし

ます。アラームが鳴って、軟水カートリッジの交換時期のリセットが完了したことを知らせてくれます。

- ⑧ 電源スイッチをOFFして (O側を押す)、再びONします (I側を押す)。

※ 軟水器交換 LED が消灯していれば、リセットは完了できています。

- ⑨ 補給タンク内やインナータンク内が汚れているようであれば、電源スイッチをOFFして (O側を押す) 電源プラグを抜きます。

7. 機械の停機

ケース3の手順②と③に従って補給タンク内の水を排水します。

ウエスで、補給タンク内とインナータンク内の汚れを拭取ります。

⚠ 注意

補給タンク内とインナータンク内の清掃には、洗剤や溶剤などの薬剤を使用しないでください。ウエスで汚れを拭取ります。薬剤を使用して成分が残っていると、機械トラブルの原因となる可能性があります。

(3) 1年毎に実施する保守(スチーマータンク洗浄液による洗浄)

本機は軟水器を装備していますが、長期使用の間には少しずつスケールが蒸気発生タンク内や配管内に堆積します。1年に1回程度の頻度で、蒸気発生タンク内や配管内を専用のスチーマータンク洗浄液でスケールを取り除いてください。手順は以下の通りに行います。

- ① **7. 機械の停機 ケース2** の手順①から⑥に従って、蒸気発生タンク内の水を排水します。

- ② 補給タンク内にあるインナータンクを取り出します。

※ 水が滴り落ちますので、インナータンクをバケツなどで受けてください。

※ 洗浄中は、インナータンクは不要です。

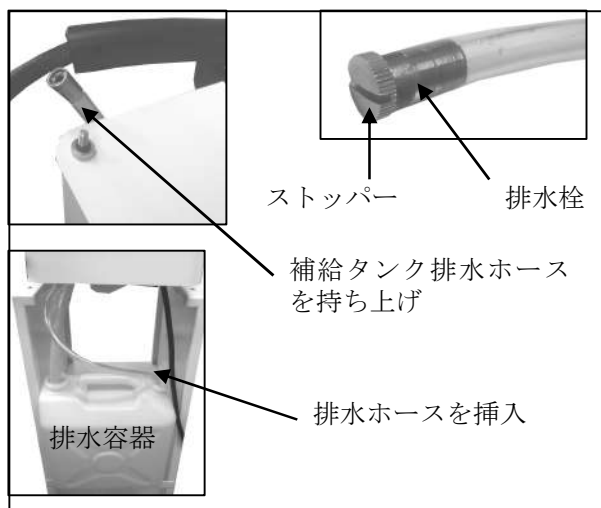


- ③ 補給タンク排水ホース（透明ホース）の先端を上方へ持ち上げて、排水栓のストッパーを回して外します。排水ホースの先端を指で塞ぎながら、排水容器へホースを挿入して水を排水します。

※ 排水ホース先端を下方にして排水栓のストッパーを外すと水が零れる可能性がありますので、先端を上方にして外します。

※ 補給タンク内は最多量で約4リットルの水が入っています。

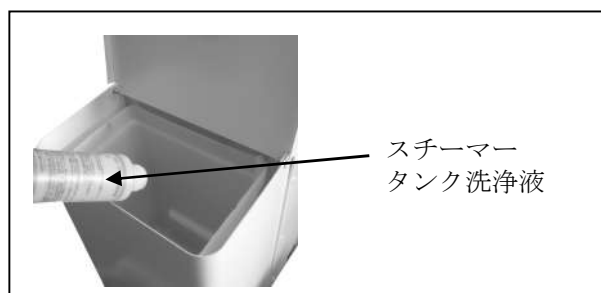
補給タンクの水を排水完了後、排水ホースの排水栓のストッパーをねじ込んで取付けます。



- ④ 補給タンクに水を約3リットル入れます。専用のスチーマータンク洗浄液を1本分全て入れます。補給タンクの蓋を付けます。

※ 市販の洗浄剤は使用しないでください。

機械の配管内部を浸食させる可能性があります。



- ⑤ 電源コードの電源プラグをコンセントへ差し込んで、電源スイッチをONします。
(I側を押す) 操作パネルの運転SWを押して運転を開始します。(3秒長押し)

※ 通常運転と同じですので、蒸気発生タンク内には、圧力蒸気が発生します。約1時間運転して、運転SWを押してOFFします。

※ 長時間の運転は、洗浄液による配管内部の浸食が起こりますので、2時間までを限度として運転を停止してください。



- ⑥ **7. 機械の停機 ケース2** の手順①から⑥に従って、蒸気発生タンク内の水を排水します。

- ⑦ 上記手順③と同じ手順で、補給タンク内の水を排水します。

- ⑧ 補給タンクへ水を約3リットル入れます。

※ 以下の手順はスチーマータンク洗浄液の成分を洗い流すためのものです。

- ⑨ 上記手順⑤の要領で、運転を開始します。

水を送り込むポンプの駆動音が停止したら、運転SWをOFFします。

※ 上記手順⑤のように、運転開始後1時間放置する必要はありません。

- ⑩ **7. 機械の停機 ケース2** の手順①から⑥に従って、蒸気発生タンク内の水を排水します。
- ⑪ 上記手順③の要領で、補給タンク内の水を排水します。
- ⑫ 補給タンク内やインナータンク内に付着した汚れをウエスで拭取ります。

⚠ 注意	補給タンク内とインナータンク内の清掃には、洗剤や溶剤などの薬剤を使用しないでください。ウエスで汚れを拭取ります。薬剤を使用して成分が残っていると、 機械トラブルの原因となる可能性があります。
-------------	--

- ⑬ インナータンクを補給タンクへ戻します。
- 以上でスチーマータンク洗浄液による洗浄は完了です。

9. トラブルシューティング

症状	予想される原因	対処
電源が入らないまたは、操作パネルの LED が全て点灯しない	コンセントへ電源プラグが入っていない	電源プラグを差し込む
	電源スイッチが ON になっていない	電源スイッチを ON にする
	機械転倒検知装置が作動している	機械を平らな場所に設置する
	トランスの故障	メーカーによる修理が必要
	操作パネルの故障	メーカーによる修理が必要
運転 SW が ON しない	蒸気発生タンク排水レバーが開である	排水レバーを閉じる
	3 秒間の長押しをしていない	運転 SW を長押しする
	補給タンクに水が入っていない	補給タンクへ水を入れる
	メンテナンスモードに入っている (運転 SW の LED が点滅している)	電源スイッチを OFF / ON する
	要点検 LED が点滅している	メーカーによる修理が必要
	操作パネルの故障	メーカーによる修理が必要
排水できます LED が常に消灯または、点灯である	温度センサーの故障	メーカーによる修理が必要
要点検 LED が点滅する	蒸気発生タンクの異常または、ポンプ異常	メーカーによる修理が必要
スチームがでない	スチームスイッチを長押ししていない	スイッチを 3 秒長押しする
	スチーム準備中である (点滅は準備中 LED が点滅している)	点滅は準備中 LED が点灯に変わってから使用する
	タンクヒーターの故障	メーカーによる修理が必要
	スチームスイッチの故障	メーカーによる修理が必要
	スチーム電磁弁の故障	メーカーによる修理が必要

10. 製品仕様

名称	ラプレ シャンプースチーマー A T
定格電圧、周波数	単相 AC100V、50Hz/60Hz
最大消費電力	1.2KW
セーフティ機能	蒸気発生タンク温度異常検知 蒸気発生タンク内異常圧力時強制リリース機能 機械転倒検知装置搭載
本体寸法	スチーマー本体：W224mm×D396mm×H380mm（ノズルホルダーなし） （スチームチューブクランプなし）
本体重量	スチーマー本体：12Kg

11. オプション商品

●専用ワゴン

- サイズ W280×D400×H645mm
（取手を含む W280×D460×H905mm）
- 重量 6.5Kg



●排水容器

- 5 リットル仕様



●専用シャンプー

- 200ml ポンプフォーマー入り
- 1000ml 詰替え用チアパック入り



●専用コンディショナー

- 200ml ポンプフォーマー入り
- 1000ml 詰替え用チアパック入り




●軟水カートリッジ



●スチーマータンク洗浄液



ラプレ シャンプースチーマーAT 保証書			
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
保証期間		お買い上げ日から 1 年間	
お客様			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 店名 様 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 住所〒 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> 電話番号 () — </div>			
販売店様			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 店名 様 </div>			



株式会社ティ.アイ.プロス
〒611-0041
京都府宇治市槇島町落合 144-7
TEL (0774) 28-5778
FAX (0774) 28-5772

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って、正しくお使い頂いた状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間内でも次のような場合は、原則として有料とさせていただきます。
 - ① 使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
 - ② お買い上げ後の輸送、落下などによる故障および損傷
 - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷
 - ④ 指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
 - ⑤ 他の接続機器、接続部材に起因して生じた故障および損傷
 - ⑥ 本書のご提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店様名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
3. 無償修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご提示いただき、お申し付けください。
4. 原則として、本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、販売店までお問い合わせください。